

第十九回 北海道小・中・高生短歌コンテスト二次審査通過作品一覧(通過248首中、入選以上を除く160首)

小学1～3年生の部

| | | | | |
|----|-------------------------------------|------------|----|----------|
| 1 | 定山けい歩きまわったま夏の日帰りに気づくやぶかのかゆみ | 札幌市立栄南小学校 | 3年 | 小川 夕輝 |
| 2 | 原っぱにひびきわたるよ虫の声ツクツクボウシのオーケストラだ | 札幌市立札幌北小学校 | 2年 | 加納 光莉 |
| 3 | なんだろう？一しゅん見えたくろいかげ心わくわく大きな魚 | 札幌市立資生館小学校 | 2年 | やすたはると |
| 4 | ハワイとつぼくらとおよぐイルカたちうつくしいうみかべのないうみ | 札幌市立二条小学校 | 1年 | 芦谷 吉成 |
| 5 | まどあけて聞くコンサート。ピリリリ今夜の主役はエンマコオロギ | 札幌市立白楊小学校 | 3年 | 駒井 翔太 |
| 6 | 休みなく毎朝毎夜。ピアノひく大好きだからうまくなりた | 札幌市立平岡南小学校 | 3年 | くどうみな |
| 7 | あわが出るていねプールは楽しいよいるかのようにながれにのって | 札幌市立円山小学校 | 2年 | たかくさぎことは |
| 8 | 果汁じゅわころにしみるこの味はしんじゆのようなきれいなライチ | 札幌市立緑丘小学校 | 3年 | 大神信次郎 |
| 9 | よう虫が、毎日そだつうれいな。元気にそだてぼくのよう虫 | 苫小牧市立清水小学校 | 3年 | 黄木 碧煌 |
| 10 | はたけでねいっぱいとれたみどりいろすんごくすごくおいしいやさ | 苫小牧市立清水小学校 | 3年 | 武知 詩 |
| 11 | きょうりゅうショートリケラトプスつよいけどテイルノサウルスもつと強いぞ | 七飯町立七重小学校 | 3年 | 中尾 瞭杜 |
| 12 | アゲハの子はやく大人になってよとよびかけてみたのしみだから | 別海町立西春別小学校 | 3年 | 岩井 優真 |
| 13 | すべりだいウォーターライダーみたいだなあつというまに下についたよ | 別海町立西春別小学校 | 3年 | 中西乃々華 |

小学4～6年生の部

| | | | | |
|----|---------------------------------|---------------|----|-------|
| 14 | 水族館迫力があるイルカショー高くとびあがるトビウオのよう | 旭川市立新富小学校 | 5年 | 伊藤 結羽 |
| 15 | 気合いれ打席に入る情熱をバットにこめてレフト前ヒット | 旭川市立新富小学校 | 5年 | 金谷 零也 |
| 16 | 久々のスタメン出場初打席ライト前ヒットつきあげた拳 | 旭川市立新富小学校 | 5年 | 菅原 詩太 |
| 17 | サッカーの試合に行つて日焼けしてひりひりいたいシャワーの時間 | 旭川市立新富小学校 | 5年 | 本間 咲菜 |
| 18 | 海に行き砂から出てきたなんだこれ現われたのは小さなヒラメ | 旭川市立新富小学校 | 5年 | 松本莉緒奈 |
| 19 | やつとついた地球岬の展望台上から見える一面の海 | 旭川市立新富小学校 | 5年 | 安井 結菜 |
| 20 | あたたかい手植えで入った水の中足湯みたいで気分も上がる | 北広島市立西の里小学校 | 6年 | 坂本 真悠 |
| 21 | 朝起きて庭に育てた蕾の花赤く満開にきらきら咲いてた | 釧路町立知方学小学校 | 6年 | 本多 春月 |
| 22 | 吹きガラス意外と上手に出来上がり自由研究夏の思い出 | 札幌市立北九条小学校 | 4年 | 羽田 直生 |
| 23 | しゃぼん玉色とりどりのライト照る夜に浮かんでぱちんと割れる | 札幌市立北九条小学校 | 4年 | 原田 恵菜 |
| 24 | 原宿の竹下通り歩いたよ私は住めない東京のまち | 札幌市立北九条小学校 | 4年 | 久田 梨乃 |
| 25 | 妹とかたづけサボったバーベキュー怒られたのはなぜかぼくだけ | 札幌市立北九条小学校 | 5年 | 北川 龍輝 |
| 26 | 積丹の船からパンをかかげたら猛スピードでカモメが突撃 | 札幌市立札幌苗緑小学校 | 6年 | 小野 睦季 |
| 27 | 夏の日にペランダにきたカミキリ虫二日泊つて三日目いない | 札幌市立札幌苗緑小学校 | 6年 | 今 結那 |
| 28 | 動物園みんな日かげでねているよ活発なのはキリンだけだよ | 札幌市立札幌苗緑小学校 | 6年 | 佐々 綾希 |
| 29 | 歴史あるおたるのまちになりひびく暑さふきとぶふうりんの音 | 札幌市立札幌苗緑小学校 | 6年 | 佐野 琉和 |
| 30 | ポウリング決まった時のそう快感次来る時は目指せターキー | 札幌市立札幌苗緑小学校 | 6年 | 中野 航佑 |
| 31 | キラキラと夜空に光る花火たち夏の終わりの足元照らす | 札幌市立札幌苗緑小学校 | 6年 | 渡邊 愛夏 |
| 32 | 山々をきれいに染めるもみじの葉落ち葉に変わり冬が近づく | 札幌市立三角山小学校 | 6年 | 斉木 綾音 |
| 33 | 旬のもの秋がおいしいさつまいもしゃべる車を追いかける | 札幌市立三角山小学校 | 6年 | 八戸 翔生 |
| 34 | 落ち着いて粘りに粘つて振り抜いた勝敗を決めるサヨナラホームラン | 札幌市立三角山小学校 | 6年 | 松尾 龍樹 |
| 35 | 秋の空あおいでみれば天藍の高い空と鷗がみえる | 札幌市立三角山小学校 | 6年 | 吉野 聖 |
| 36 | 見上げれば流星群が流れてる夜空に願い手がもうとどく | 札幌市立新光小学校 | 5年 | 岡田 咲楽 |
| 37 | 寒い朝黄色い葉っぱおりにいく見つめるわたしじてんしや道で | 札幌市立新光小学校 | 5年 | 日野田響香 |
| 38 | たくさん歴史を学ぶ貝塚でもっと知りたい縄文時代 | 札幌市立新札幌わかば小学校 | 6年 | 日端 瑠奏 |
| 39 | 風と波アルパカうきわゆるけどバランス勝負手ばなしで乗る | 札幌市立西園小学校 | 4年 | 形川 椿季 |
| 40 | 夏休みの最後に行つた天狗山ロープウェイに思い出させて | 札幌市立屯田西小学校 | 6年 | 山下 茉莉 |
| 41 | しこつこでキラキラ光るガラス石バケツいっぱい思い出いっぱい | 札幌市立西岡小学校 | 4年 | 富岡 昊平 |
| 42 | 森の中セミやアブたちの声がする木の葉のかけで秘密の合唱 | 札幌市立西岡小学校 | 6年 | 相沢 莉夢 |

| | | | | |
|----|-----------------------------------|----------------|----|--------|
| 43 | ホームラン入れば気持ちいい音がするベースを回りホームに到達 | 札幌市立西岡小学校 | 6年 | 佐々木颯希 |
| 44 | ふうりんがちりんちりんとのどならず すすしいでしょ」とさわやかな声 | 札幌市立西岡小学校 | 6年 | 用名 心春 |
| 45 | 思い出は目覚めたあとにツツこまれ寝言にクスクスボテトはしで」 | 札幌市立八軒小学校 | 6年 | 熊谷 悠 |
| 46 | キャンプ場かがやく川でマスを釣る自分でさばく味は最高 | 札幌市立発寒西小学校 | 5年 | 小山田 創 |
| 47 | 楽しみは夏の醍醐味川遊び魚つかまえ名を付ける時 | 札幌市立伏古北小学校 | 6年 | 高橋 和花 |
| 48 | おぼん中たいくつすぎて家を出るペダルをこぐたび増えるさびしさ | 札幌市立真駒内桜山小学校 | 4年 | 館田 悠司 |
| 49 | なつやすみむしつかまえるカブトムシげんきいっぱいわたしのペット | 札幌市立みどり小学校 | 4年 | 吉田 航大 |
| 50 | おい時間自分勝手に先行くなぼくの都合はおかまいなしだ | 札幌市立山の手南小学校 | 6年 | 水林 麟 |
| 51 | サクラマスたきをバシヤバシヤ水かかると大変そうだおうえんするよ | 標津町立標津小学校 | 4年 | 稗貫心優華 |
| 52 | 太陽がぼくの心を焦らせるしやりしやり甘い雪山溶かす | 田中学園立命館慶祥小学校 | 5年 | 石尾 春磨 |
| 53 | 夏休みうみにいってみずあそびすなおしろもつくりたいな | 千歳市立みどり台小学校 | 4年 | なかおまゆと |
| 54 | たのしみは生き物たちのすがた見て新たな発見探し出すとき | 苫小牧市立清水小学校 | 6年 | 川崎 嵩仁 |
| 55 | 暑い夏あみどにせみがとまったよじりじりないてみんなびっくり | 函館市立えさん小学校 | 4年 | 田中彩友美 |
| 56 | 夏の夜虫たちみんな暑いよと耳をすませばコソコソ言ってる | 函館市立北日吉小学校 | 4年 | 伊藤 瑚夏 |
| 57 | みかん色ひらひらゆれる更紗もよう見てもあきないかわいい金魚 | 北海道教育大学附属札幌小学校 | 4年 | 石塚 立夏 |
| 58 | 学校で友達とけんかしちゃったよ休み時間に謝れるかな | 増毛町立増毛小学校 | 5年 | 長谷川 来 |
| 59 | 輪になって笑顔集まるぼんおどりたいこのひびきで去る夏の雨 | 留萌市立緑丘小学校 | 4年 | 村松 碧葉 |

中学生の部

| | | | | |
|----|---------------------------------|-------------|----|-------|
| 60 | ペダルふみ友と向かった神楽町待っていたのはかがやく夕日 | 旭川市立中央中学校 | 2年 | 大嶋 健徳 |
| 61 | 帰り道友と喧嘩し雨が降り傘を差さずに帰ったあの日 | 旭川市立中央中学校 | 2年 | 笹 柚花 |
| 62 | 本番が一番うまいとほめられたピアノ演奏悔いは残らず | 石狩市立花川南中学校 | 2年 | 西守 彩乃 |
| 63 | 夕暮れに薄く広がるわたあめに夕日隠れて赤色消える | 雨竜町立雨竜中学校 | 2年 | 高山侑里奈 |
| 64 | 下駄箱のページュの手紙なんだらな放課後静か伝えられる詩 | 恵庭市立恵み野中学校 | 2年 | 住吉 琴羽 |
| 65 | 地引網海風感じ砂浜で大漁の幸心もおどる | 江別市立大麻東中学校 | 2年 | 佐澤 亜優 |
| 66 | 雨の音教室に入るすずしい風私の好きな夏の雨の日 | 江別市立大麻東中学校 | 2年 | 竹花妃翔鈴 |
| 67 | 瑞巖寺振り返るなら参道の門より覗く松島の海 | 江別市立大麻東中学校 | 3年 | 西村 虎流 |
| 68 | 夕暮れに君と私をほのかに照らすこれが最後の線香花火 | 江別市立中央中学校 | 2年 | 村上 希海 |
| 69 | 暗い夜踊るカーテンに誘われて外を覗くと満天の星 | 小樽市立桜町中学校 | 2年 | 丹野李乃愛 |
| 70 | ひっそりと群青なりたる青い池ゆるぎなき青ゆらめく心 | 帯広市立南町中学校 | 2年 | 阿佐 崇良 |
| 71 | おそろいのTシャツを着てたくさんの思い出つくる球技大会 | 帯広市立南町中学校 | 2年 | 砂田あず美 |
| 72 | 山々に囲まれている洞爺湖のほとりで読書至福のひとつとき | 北広島市立東部中学校 | 2年 | 御園 遼生 |
| 73 | 澄んだ青海の香りで涼し気な夏を感じる積丹ブルー | 北広島市立東部中学校 | 2年 | 畑野 紗和 |
| 74 | アイヌコタン神に感謝し歩みつつ響き渡るはムツクリの音 | 釧路市立共栄中学校 | 2年 | 下浅 心 |
| 75 | 夜(よ)を見上げ咲き乱れるは大輪の 夏が終わる」と哀しき言つて | 釧路市立青陵中学校 | 3年 | 佐藤 礼 |
| 76 | 梅雨の時期薄暗い中紫陽花がとても鮮やかに一際目立つ | 栗山町立栗山中学校 | 2年 | 沼田 雪那 |
| 77 | 久々に会った貴方は大人びて私の知らぬ笑顔を見せる | 黒松内町立黒松内中学校 | 2年 | 田村 いろ |
| 78 | 七歳でシヨパンがつくったポロネーズ十四の私にまだ難しい | 札幌光星中学校 | 2年 | 伊藤くるみ |
| 79 | ペダル漕ぎ友と一緒に駆け抜けた桜が咲いた思い出の道 | 札幌市立青葉中学校 | 2年 | 二森 桃香 |
| 80 | 飛行機のかすかに響くエンジンの音と一緒に夏風来たる | 札幌市立厚別南中学校 | 1年 | 伊藤 優那 |
| 81 | 初夏の地でアスレチックを初体験芽生え始めた仲間の絆 | 札幌市立厚別南中学校 | 2年 | 海沼 夏月 |
| 82 | 合唱コン緊張抑えて歌い出す練習の日々この瞬間(とき)のため | 札幌市立北野台中学校 | 1年 | 西村 結衣 |
| 83 | 全国へ高まる鼓動静めつつスタート構える第四レーン | 札幌市立光陽中学校 | 2年 | 成田 光来 |
| 84 | 逆さまの入道雲と夏休み畳の上で風鈴を聞く | 札幌市立栄町中学校 | 2年 | 上田 理子 |
| 85 | 重い足どり電灯一つ影一つ泥服てらす部活の帰り | 札幌市立真栄中学校 | 1年 | 江口 紘生 |
| 86 | 風鈴とねこの鳴き声待っている祖母の家へと今年も帰省 | 札幌市立新川中学校 | 2年 | 佐藤 羽音 |
| 87 | 怪談で肝を冷やしたあとの夜なんか隙間を気にしてしまう | 札幌市立中央中学校 | 2年 | 植田 早咲 |
| 88 | 夏の夜クワガタ求め森探すやっと思つたローソン前で | 札幌市立手稲東中学校 | 2年 | 亀谷 健太 |

| | | | | |
|-----|--------------------------------|-----------------|----|-------|
| 134 | この人生正解はない大口で食らってやったよ不正解 | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 高橋虹乃歌 |
| 133 | 緊張だ四時間だった初バイト手順覚えてつぎのステップ | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 加茂千秋 |
| 132 | 部屋中が東雲色に染め上がる窓を開ければ七月の風 | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 小栗聖名 |
| 131 | 厚着して家族で囲む手持花火まだまだ来ない猿払の夏 | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 阿部倅盛 |
| 130 | いつまでも輝く夜空見ていたい止まらぬ時間なごり惜しいな | 北海道小樽高等支援学校 | 3年 | 中野悠裡 |
| 129 | 夏の夜きれいな夜空星光る心安らぐプラナタリウム | 北海道恵庭北高等学校 | 3年 | 古田祥也 |
| 128 | 文化祭口実として残っていたあの日の放課後君といるため | 北海道恵庭北高等学校 | 3年 | 乾真緒 |
| 127 | コート上飛び交うシャトル光る汗仲間と共に勝利を目指す | 北海道旭川工業高等学校 | 3年 | 松浦知輝 |
| 126 | 読書して話の中を旅をするページをめくる夜の静けさ | 北海道旭川工業高等学校 | 3年 | 中村凱世 |
| 125 | からっぽの僕の器を満たすのは短く青い春かもしれない | 北海道旭川工業高等学校 | 3年 | 白井颯人 |
| 124 | 天の川君を想うよいつまでも叶うことなき恋物語 | 北海道旭川工業高等学校 | 3年 | 柴垣陸 |
| 123 | 新聞局アポを忘れた後輩に頭悩ます局長のオレ | 北海道旭川工業高等学校 | 3年 | 佐々木晃成 |
| 122 | パレー部で先輩方と一年生和気あいあいと高め合っていく | 北海道旭川工業高等学校 | 1年 | 松山隼空 |
| 121 | 灼熱の補講終わりの帰り道友とシェアするコンビニアイス | 東海大学付属札幌高等学校 | 3年 | 増田麟太郎 |
| 120 | 沢歩き化石探して夏の山不易の川が足を冷やして | 市立札幌開成中等教育学校 | 4年 | 山下明莉 |
| 119 | 人助け謝辞は無くともとくはあり鼻唄気分で塾へと駆ける | 札幌光星高等学校 | 2年 | 岡本佳晃 |
| 118 | 雨雲がワクワク顔を曇らせて父子の背中丸みを帯びる | 旭川実業高等学校 | 1年 | 高橋依礼 |
| 117 | あと一年一緒にいれる時間だけ笑顔でいたい十四の夏 | 和寒町立和寒中学校 | 2年 | 今野陽菜 |
| 116 | 夢だから推しと恋愛してしまえ魔法がぜんぶ消えちゃうまえに | 和寒町立和寒中学校 | 2年 | 荒木紅怜羽 |
| 115 | 頬伝う涙拭ってポップコーンスクリン流れ増しゆく塩味 | 立命館慶祥中学校 | 3年 | 宮川優希 |
| 114 | 夏の朝外を歩けばさわがしく心が弾む祭りのにおい | 室蘭市立桜蘭中学校 | 2年 | 星美音 |
| 113 | 体育で砂ぼこりまうグラウンド窓から見えるあの子の背中 | 室蘭市立桜蘭中学校 | 2年 | 藤本麻由佳 |
| 112 | 夏祭り屋台で買ったりんごあめきらきら映る君との思い出 | 室蘭市立桜蘭中学校 | 2年 | 外崎可藍 |
| 111 | 暑い夏試合で負けぬ気合入れ先輩との夏終わりたくない | 室蘭市立桜蘭中学校 | 2年 | 梅田悠汰 |
| 110 | 引き潮の時に見つけた貝殻を君は今でも持っていてくれる | 北海道自由が丘学園月寒スクール | 2年 | 鈴木みお |
| 109 | 幸せは上より下に落ちていくことに気付いた朝明けの四葉 | 北海道教育大学附属旭川中学校 | 2年 | 宗形華苗 |
| 108 | プリキュアにならなかつもりの妹は実は家族のプリキュアなのだ | 北海道教育大学附属旭川中学校 | 2年 | 権純吉 |
| 107 | さよならと枝に別れを告げる葉に秋の終わりを感ずる私 | 北海道教育大学附属旭川中学校 | 2年 | 鎌田愛莉 |
| 106 | 失って声なき今も胸中に温もり残る祖父母の住まい | 藤女子中学校 | 3年 | 増田あおい |
| 105 | 優しい綺麗な空を見るときは僕の心は雨でいっぱい | 苫小牧市立光洋中学校 | 2年 | 高田純菜 |
| 104 | 友達の話についていけないただただ聞いて笑顔を作る | 苫小牧市立明野中学校 | 2年 | 佐藤愛夢 |
| 103 | 暑すぎるエアコン前で横になり気づけば猫も隣で涼む | 苫小牧市立明野中学校 | 2年 | 竿田紗良 |
| 102 | いつからか母に怒られ腹立てる変わる自分にまた腹立てる | 苫小牧市立明野中学校 | 1年 | 前原みのり |
| 101 | 気づいてる日々読み返すメッセージ本当の声聴かせてよほら | 伊達市立伊達中学校 | 2年 | 秋元颯太 |
| 100 | 指揮棒を振ると同時に響き渡る豊かな音色一つにしたい | 滝川市立明苑中学校 | 2年 | 濱田美紗 |
| 99 | 一瞬で心をつかめ響かせろ重なる音色夏の戦い | 滝川市立明苑中学校 | 2年 | 成田このん |
| 98 | あの人と一緒にいたから？風邪だから？熱の理由がわからないまま | 市立札幌開成中等教育学校 | 2年 | 高橋佑奈 |
| 97 | 遠方へ行ってしまった我が友よ席を見るたび侘しく思う | 滝川市立明苑中学校 | 2年 | 浦田結 |
| 96 | 炎天下緑の中でラフティングざぶんと鳴く水笑う羊蹄 | 市立札幌開成中等教育学校 | 1年 | 猪師めい |
| 95 | 奇遇かな遠く離れた網走でクラスメートと目が合う奇跡 | 札幌市立もみじ台中学校 | 3年 | 伊達蒼介 |
| 94 | 教科書の種類が増えて今までと重みの違い感じる日々に | 札幌市立明園中学校 | 1年 | 光山颯一郎 |
| 93 | 百千の星降りそそぐ空の下宗谷の間に雪しのしぶく | 札幌市立南が丘中学校 | 2年 | 鈴木悠賀 |
| 92 | 暇潰しフラットと寄った無人駅にぎわう昔にタイムスリップ | 札幌市立真駒内中学校 | 1年 | 永井颯人 |
| 91 | 真駒内花火大会今回も窓から見えるにぎわい共に | 札幌市立真駒内中学校 | 1年 | 高山想生 |
| 90 | 暑過ぎて高くなる音チューニング外の気温も調節したい | 札幌市立真駒内中学校 | 1年 | 一條蓮 |
| 89 | 帰り路イヤホンもってちよつとだけ夕陽を無音で聴いてる明日 | 札幌市立東白石中学校 | 2年 | 鈴木睦己 |

高校生の部

| | | | | |
|-----|----------------------------------|--------------------|----|--------|
| 160 | ふと見れば壁よじ登るコクワガタペンを投げ置きにやりと笑う | 立命館慶祥高等学校 | 2年 | 稲村 湊 |
| 159 | 青い海素足の季節水しぐき波打ち際で君の手を取る | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 3年 | 畠山 真緒 |
| 158 | 思いつきみんなを集め旅に出る海辺に並ぶ青春の影 | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 3年 | 竹田 莉々花 |
| 157 | バスケット仲間と共に打ち込んだ高校最後寂しくなるね | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 3年 | 神原 愛子 |
| 156 | 付き合ったその一言に時止まる喜ぶ君に渡す夕顔 | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 3年 | 小倉 孝旺 |
| 155 | 練習試合もらったチャンス活かすため気合いをいれて打席に向かう | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 2年 | 藤田 匡治 |
| 154 | 甲子園今年も始まる暑い夏気持ちを一気に突き進んでく | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 2年 | 下口 智哉 |
| 153 | スケボーで悲願の二連覇すこかった深夜も熱闘。パリオリンピック | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 2年 | 佐藤 蓮太郎 |
| 152 | 今年からエアコン設置我が家には涼しい中で見る甲子園 | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 2年 | 小塚 沙綾 |
| 151 | あつい夏みたい景色はその先にぐらりとゆがむその目の先に | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 1年 | 山岸 知代 |
| 150 | 青空を切り裂くようなホームラン甲子園へと描く曲線 | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 1年 | 下柘 棚理 |
| 149 | 部活動飛び交う羽に夢描き汗と笑顔で夏の日過す | 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 | 1年 | 板倉 梨恋 |
| 148 | トタン屋根根雨といっしょに歌いだす夜もまわってすいーとららばい | 北海道福島商業高等学校 | 3年 | 石岡 優 |
| 147 | 蝦夷富士で汗水垂らしひたすらに吐く息白く山頂目指す | 北海道札幌南高等学校 | 1年 | 大塚 千秋 |
| 146 | 音に乗せ痛み楽しさ書き出して聴衆へ舞え音符の手紙 | 北海道札幌西高等学校 | 2年 | 林 秀一郎 |
| 145 | ブラウンのボディが光る謎の虫私のとこへ来るのはやめて | 北海道釧路湖陵高等学校(定時制) | 4年 | 真嶋 結姫乃 |
| 144 | 夜の海君と二人で手が触れて思わず溢れる炭酸と好き | 北海道釧路湖陵高等学校(定時制) | 4年 | 尾形 静月 |
| 143 | 蝉の声響く青空眩しすぎ君との夏が永遠ならば | 北海道釧路工業高等学校 | 2年 | 上田 逢郎 |
| 142 | 天高くアーチを描く白球に歓声が湧く夏の甲子園 | 北海道釧路工業高等学校 | 2年 | 青木 翔永 |
| 141 | 弓を引き心と的がつかねがればまっすぐ飛んで夢に届くよ。 | 北海道釧路工業高等学校 | 1年 | 早崎 献心 |
| 140 | 寺参り上手になったと褒められて親鸞様の正信偈(しようしんげ)読む | 北海道小樽水産高等学校 | 3年 | 橋本 遼人 |
| 139 | 懐かしき人のにぎわい感じつつ一年ぶりの潮(うしお)のかおり | 北海道小樽水産高等学校 | 3年 | 橋岡 海友 |
| 138 | 太陽の力をいっばい吸い込んで見下ろしてくる真っ赤なトマト | 北海道小樽水産高等学校 | 3年 | 小畑 恋歌 |
| 137 | 十勝まで自転車漕いだ夏休みてん菜の甘い香りただよう | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 矢崎 琉輝 |
| 136 | 槍握り六十目指し猛特訓歩幅をあわせて空に突き刺す | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 畠山 惇 |
| 135 | 同じ海いつもの小樽友がいるただそれだけで景色が変わる | 北海道小樽水産高等学校 | 1年 | 南雲 天翔 |